

第7章

関連文化財群の設定

1節 関連文化財群の設定

1. 関連文化財群の目的と考え方

関連文化財群は、指定等・未指定に関わらず、鹿角地域の多様な文化財を歴史文化の特性に基づいてテーマに沿って、一定のまとまりとして捉えたものである。複数の文化財を一つのまとまりとして扱うことで、未指定文化財についても構成要素としての価値づけができるようになる。また、相互に結びついた歴史文化や文化財の多面的な価値や魅力を明らかにすることができる。

2. 関連文化財群の設定

第3章で整理した歴史文化の特性をもとに関連文化財群を設定し、文化財の総合的・一体的な保存・活用のための取組みを実施する。複数の文化財を総合的・一体的に保存・活用することにより、鹿角地域の歴史文化の価値を住民などに伝えることができ、地域に対する誇りや愛着を育み、歴史文化を活かしたまちづくりへ主体的に取り組むことが期待される。

本地域計画では、広く住民に親しまれているまとまりを取り上げる。なお、今後の把握調査で新たな文化財が発見された場合や、別の視点でのまとまりが組立てられた場合は、次期地域計画で新たに設定する。

2節 関連文化財群

本地域計画は関連文化財群を次のとおり設定した。

●歴史文化の特性と関連文化財群の関係性

青垣山をめぐる 鹿角の里		関連文化財群				
		1. 山と川が 織りなす 人々の暮らし	2. 菅江真澄が みた風景	3. 黄金花咲く 鹿角	4. 小さな集落の 祭りと行事	5. 伝統と挑戦が 魅了する 鹿角の祭礼・芸能
歴史文化の 特性	山島 鹿角	◎	○	○	○	○
	いにしへの里 鹿角	○	◎		○	
	境のマチ 鹿角		○	○		○
	黄金ふく青垣山	○		◎		○
	鹿角に息づく 信仰と風流		○	○	◎	◎

※「◎」はメインとなる構成要素、「○」は関連する構成要素

1. 山と川が織りなす人々の暮らし

(1) 概要

鹿角地域は四方を山並みに囲まれ、米代川とその支流が流れる田園風景が広がる盆地に位置する。古くから豊かな自然と共生し、民謡や伝説・民話、絵画を生んだ。鹿角地域の人々の豊かな生活の様子を現在に伝える。

(2) テーマ

人々の営みは縄文時代までさかのぼる。米代川流域とその支流河川沿いの高台に生活の痕跡が見つかっている。なかでも世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産である「大湯環状列石」は縄文時代の精神世界を示す貴重な遺跡である。

中世には土地の起伏を生かして各所に館が造られた。江戸時代になると河川沿いの低地での耕地開発が進み、稲作や畑作が盛んになった。こうしてできた村々は現在の自治会の基礎ともなっており、現在とつながっている。

山がもたらす森林や鉱物は、古くから地域産業の有益な資源として人々の生活を潤し、地域内外との交流を生み出した。多くの温泉は療養のほか、暮らしの大きな楽しみの一つとなった。なかでも大湯温泉は、盛岡藩内の地誌『邦内郷村志』に、近隣から湯治をする人々が絶えることなく集まると記載され、盛岡藩内の著名な湯治場となった。

自然との共生のなかで民謡や伝説・民話、絵画といった口承文芸や芸術が生まれた。伝説・民話は情感あふれる方言で語られ、豊かな心を育み、地域の歴史を伝え、民謡や絵画は鹿角地域の人々の生活の様子を現在に伝えている。

こうした生活の様子や自然環境は、内藤湖南、内田武志、大里武八郎、泉沢恒蔵など鹿角地域出身者だけでなく、柳田國男や牧野富太郎らによっても調査が行われた。



大湯温泉郷
(十和田地区)



大湯環状列石
(国指定、十和田地区)



又鬼用具
(市指定、十和田地区)

● 構成文化財一覧

名称	地区	類型	指定等
蛤歯形磨製石斧	小坂	有形文化財(美術工芸品(考古資料))	県指定
大湯環状列石出土品	十和田	有形文化財(美術工芸品(考古資料))	県指定
天戸森遺跡出土品	花輪	有形文化財(美術工芸品(考古資料))	県指定
縄文土器	十和田	有形文化財(美術工芸品(考古資料))	市指定
勾玉及び玉類	十和田	有形文化財(美術工芸品(考古資料))	市指定
海沼家所蔵土器類	尾去沢	有形文化財(美術工芸品(考古資料))	市指定
鋒形石器	八幡平	有形文化財(美術工芸品(考古資料))	市指定
岩偶	小坂	有形文化財(美術工芸品(考古資料))	町指定
台付き土器	小坂	有形文化財(美術工芸品(考古資料))	町指定
小坂町内出土品 一式	小坂	有形文化財(美術工芸品(考古資料))	未指定
鹿角市内出土品 一式	十和田・花輪・尾去沢・八幡平	有形文化財(美術工芸品(考古資料))	未指定
山樵(きこり)道具	十和田・八幡平	民俗文化財(有形の民俗文化財)	未指定

名称	地区	類型	指定等
又鬼用具	十和田・八幡平	民俗文化財(有形の民俗文化財)	市指定・未指定
きりたんぼ	全域	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
けいらん	全域	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
民謡	全域	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
大地・大里・小割沢・水沢	小坂・八幡平	文化的景観	未指定
大湯環状列石	十和田	記念物(遺跡)	国指定
小坂環状列石墳墓	小坂	記念物(遺跡)	町指定
鹿角四十二館	全域	記念物(遺跡)	未指定
十和田湖および奥入瀬溪流	小坂	記念物(名勝地・動物・植物・地質鉱物)	国指定
七滝	小坂・十和田	記念物(名勝地)	未指定
茶釜の滝	八幡平	記念物(名勝地)	未指定
湯瀬溪谷	八幡平	記念物(名勝地)	未指定
夜明島溪谷	八幡平	記念物(名勝地)	未指定
崩平の十和田火山八戸火砕流堆積層露頭	小坂	記念物(動物・植物・地質鉱物)	県指定
下川原トゲウオ生息地	花輪	記念物(動物・植物・地質鉱物)	市指定
シダレカツラ	花輪・八幡平	記念物(動物・植物・地質鉱物)	市指定・未指定
唐傘松	八幡平	記念物(動物・植物・地質鉱物)	市指定
十和田八幡平国立公園	小坂・八幡平	記念物(動物・植物・地質鉱物)	未指定
黒森山	十和田	記念物(動物・植物・地質鉱物)	未指定
茂谷山	十和田	記念物(動物・植物・地質鉱物)	未指定
皮投岳	花輪	記念物(動物・植物・地質鉱物)	未指定
五ノ宮嶽	八幡平	記念物(動物・植物・地質鉱物)	未指定
大湯温泉郷	十和田	記念物(動物・植物・地質鉱物)	未指定
八幡平温泉郷	八幡平	記念物(動物・植物・地質鉱物)	未指定
湯瀬温泉郷	八幡平	記念物(動物・植物・地質鉱物)	未指定
郷土館収蔵植物標本 一式	小坂	記念物(動物・植物・地質鉱物)	未指定
十和田図書館みどりの文庫資料一式	十和田・花輪・尾去沢・八幡平	記念物(動物・植物・地質鉱物)	未指定
鹿角市先人顕彰館資料 一式	十和田・花輪・尾去沢・八幡平	記念物(動物・植物・地質鉱物)	未指定
クロサンショウウオ	全域	記念物(動物・植物・地質鉱物)	未指定
伝説・民話	全域	その他(口承文芸)	未指定
湧水・清水	全域	その他(湧水・清水)	未指定

1. 山と川が織りなす人々の暮らし

●分布

- 〈全域〉
- ・遺跡出土品
(小坂町内出土品 一式、鹿角市内出土品 一式)
 - ・きりたんぼ
 - ・けいらん
 - ・民謡
 - ・鹿角四十二館
 - ・伝説・民話
 - ・植物標本(郷土館収蔵植物標本 一式、十和田図書館みどりの文庫資料 一式、鹿角市先人顕彰館資料 一式)
 - ・湧水・清水
 - ・クロサンショウウオ

- 小坂地区
- ・蛤歯形磨製石斧
 - ・台付き土器
 - ・岩偶

- 十和田地区
- ・縄文土器
 - ・勾玉及び玉類
 - ・又鬼用具
 - ・山樵(きこり)道具

- 花輪地区
- ・天戸森遺跡出土品

- 尾去沢地区
- ・海沼家所蔵土器類

- 八幡平地区
- ・鋒形石器
 - ・又鬼用具
 - ・山樵(きこり)道具

- 有形文化財
- 民俗文化財(有形の民俗文化財)
- 民俗文化財(無形の民俗文化財)
- 記念物
- 無形文化財・文化的景観・伝統的建造物群
- その他



資料:「国土地理院地図」をもとに作成

(3) 関連文化財群の現状と課題・方針・措置

① 現状と課題

- ・鹿角市と小坂町はそれぞれ植物標本を所蔵するが、収蔵資料台帳を作成する必要がある。
- ・民謡などの音源や植物標本などの文化財の劣化や滅失の前に調査が必要である。また、生活・生産用具は多く遺されているが、当時の暮らしについて把握する必要がある。
- ・人口減少や生活様式の変化などにより散逸の危機にあるマタギや山仕事を伝える資料や資料が乏しい湧水は把握調査を実施する必要がある。
- ・十和田湖は特別名勝及び天然記念物に指定されており、自然景観や環境の変化に特段の配慮が必要である。
- ・八幡平中学校による十和田八幡平国立公園八幡平地域のガイドが年1度行われている。鹿角地域の住民や団体それぞれが自然環境の保全運動や自然に触れる体験会、生活を知る講座を行うが、個別の文化財への体験会などが主であるため複数の文化財をテーマに沿って伝える必要がある。またそれぞれのイベントなどを集約した情報発信も必要である。
- ・鹿角地域にある遺跡は秋田県が作成する「秋田県遺跡地図情報」で周知するのみで、鹿角地域の遺跡を周知する必要がある。

② 方針

- ・鹿角市と小坂町がそれぞれ所蔵する植物標本の収蔵資料台帳を作成する。
- ・民謡などの音源や植物標本、生活・生産用具などの劣化を防ぎ後世に引き継ぐためデジタル化を図る。生活・生産用具などを用いた当時の暮らしについてデジタル技術を用いたコンテンツの作成を推進する。
- ・湧水などの自然や、山仕事の生活様式や道具などを把握するため調査を検討する。
- ・十和田湖の観光活用は文化財の価値や自然景観、環境の変化に配慮し、既存施設の維持管理などを行う。
- ・「山と川が織りなす人々の暮らし」に関連する文化財を関係団体と連携し、テーマとともに分かりやすく伝えるため講座やイベントを開催し、普及啓発を図る。自然や生活を知るための講座・体験などのイベント情報を集約した情報発信を図る。
- ・鹿角地域の遺跡に関する情報発信を推進する。

③ 措置

■ : 実施期間 ▨ : 恒常的措置

No.	新規 ／ 継続	事業名	実施者 ◎は主体	事業期間			財源
				前期	中期	後期	
1-1	新規	所蔵資料の調査 鹿角市と小坂町で所蔵する植物標本について、詳細調査を行い、学術専門機関などによる調査や鑑定のための基礎データの作成を図る。	◎市(教生・図・先)／◎町(郷)／関係団体／専門	■	■	■	市町
1-2	新規	民謡のデジタルアーカイブの推進 これまでの調査で採録した民謡などの音源をデジタル化し、音源の保存に努める。	◎市(教生・図)／◎町(教学・郷)／関係団体			■	国 県 市 町
1-3	新規	自然に関する把握調査 鹿角地域の自然に関する文化財を把握し、保存・活用のための基礎データの作成を図る。	◎市(教生・大ス)／◎町(教学・郷)／住民／関係団体／専門	■	■	■	国 市 町
1-4	新規	自然とともに生きる人々の文化財の把握調査 山樵、マタギに関する文化財を把握し、保存・活用のための基礎データの作成を図る。	◎市(教生)／◎町(教学・郷)／住民／関係団体／専門			■	国 市 町
1-5	新規	自然環境に配慮した保存・活用 学術専門機関などの意見を取り入れ、自然環境に配慮した保存・活用を図る。	◎市(教生・大ス)／◎町(教学・郷)／関係団体／専門	▨	▨	▨	国 市 町
1-6	拡充	特別名勝及び天然記念物「十和田湖および奥入瀬溪流」保存管理計画の更新と運用 既存の保存管理計画について、活用を盛り込んだ内容へ更新し、自然環境の適切な保護と観光拠点としての開発整備の両立を図る。	◎町(教学・郷・観)／住民／関係団体／専門	▨	▨	▨	国 県 町
1-7	拡充	十和田湖の自然景観・環境の保存管理 観光のための整備などに対し適切に対応し十和田湖を保護する。	◎町(教学・郷・観・建)／住民／関係団体／専門	▨	▨	▨	国 県 町

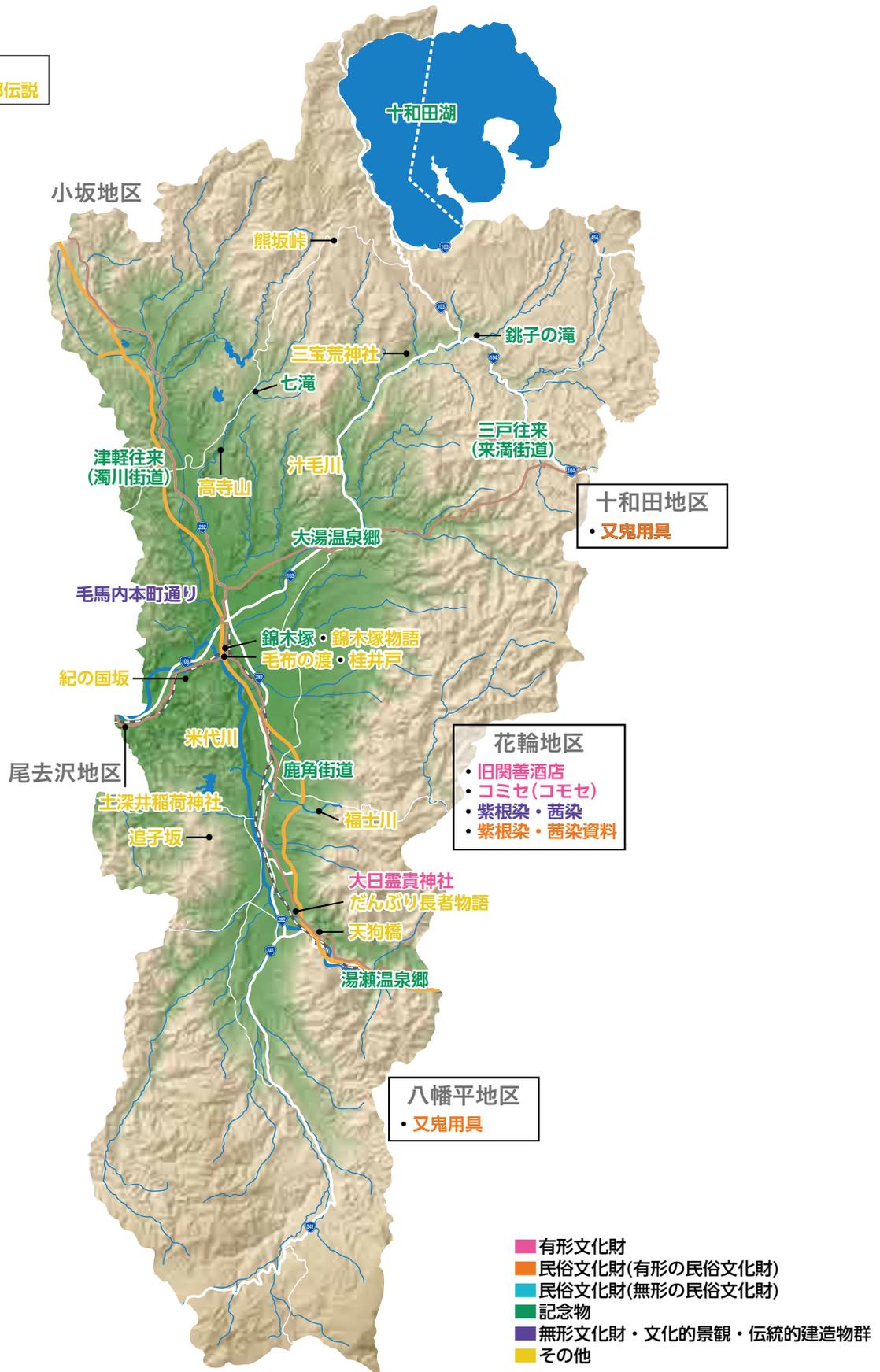
●構成文化財一覧

名称	地区	類型	指定等
旧関善酒店	花輪	有形文化財(建造物)	国登録
コミセ(コモセ)	花輪	有形文化財(建造物)	未指定
大日靈貴神社	八幡平	有形文化財(建造物)	未指定
紫根染・茜染	花輪	無形文化財	未指定
又鬼用具	十和田・八幡平	民俗文化財(有形の民俗文化財)	市指定・未指定
紫根染・茜染資料	花輪	民俗文化財(有形の民俗文化財)	市指定
錦木塚	十和田	記念物(遺跡)	未指定
鹿角街道	全域	記念物(遺跡)	未指定
津軽往来(濁川街道)	小坂・十和田	記念物(遺跡)	未指定
三戸往来(来満街道)	十和田	記念物(遺跡)	未指定
十和田湖	小坂	記念物(名勝地、動物・植物・地質鉱物)	国指定
大湯温泉郷	十和田	記念物(名勝地)	未指定
湯瀬温泉郷	八幡平	記念物(名勝地)	未指定
七滝	小坂・十和田	記念物(名勝地)	未指定
銚子の滝	十和田	記念物(名勝地)	未指定
毛馬内本町通り	十和田	伝統的建造物群	未指定
錦木塚物語	十和田	その他(口承文芸)	未指定
だんぶり長者物語	八幡平	その他(口承文芸)	未指定
八郎太郎伝説	全域	その他(口承文芸)	未指定
熊坂峠	小坂	その他(地名)	未指定
高寺山	小坂	その他(地名)	未指定
紀の国坂	十和田	その他(地名)	未指定
毛布の渡	十和田	その他(地名)	未指定
土深井稻荷神社	十和田	その他(地名)	未指定
汁毛川	十和田	その他(地名)	未指定
三宝荒神社	十和田	その他(地名)	未指定
福士川	花輪	その他(地名)	未指定
追子坂	尾去沢	その他(地名)	未指定
天狗橋	八幡平	その他(地名)	未指定
米代川	全域	その他(地名)	未指定
桂井戸	十和田	その他(湧水・清水)	未指定

2. 菅江真澄がみた風景

●分布

〈全域〉
● 八郎太郎伝説



資料:「国土地理院地図」をもとに作成

(3) 関連文化財群の現状と課題・方針・措置

①現状と課題

- ・屋外にある錦木塚などは風雪にさらされ経年劣化が進み、対策が不十分である。
- ・紫根染・茜染に用いられる原材料の確保が難しくなっており、特にムラサキは環境の変化により絶滅危惧ⅠB類に指定されるなど、原材料の確保に関する対策が必要である。
- ・紫根染・茜染、だんぶり長者物語などの口承文芸、鹿角地域にゆかりのある人物が継承されているが、個別に展示や講座などが行われ、連携が不十分である。
- ・菅江真澄にゆかりのある場所に小坂町や民間団体が看板や標柱を設置したが、管理が難しく、看板や標柱以外の情報発信が乏しい。また、菅江真澄が主で、鹿角地域を訪れた松浦武四郎などの足跡がわかる標示などが必要である。見学が困難な場所があり、保存・活用が不十分である。

②方針

- ・錦木塚など屋外にある文化財の保護施策を検討する。
- ・紫根染・茜染の継承に必要な原材料の確保に関する支援を検討する。
- ・「菅江真澄が見た風景」に関連する文化財を関係団体と連携し、テーマをわかりやすく伝える講座やイベントを検討し、普及啓発を図る。
- ・菅江真澄やそのほかの人々の足跡がわかるマップやパンフレット、デジタル技術を用いたコンテンツの作成を行い、情報発信を図る。菅江真澄やそのほかの人々の足跡をたどる周遊ルートを検討する。

③措置

■：実施期間 ▨：恒常的措置

No.	新規／継続	事業名	実施者 ◎は主体	事業期間			財源
				前期	中期	後期	
2-1	拡充	屋外に所在する文化財とその周辺環境の整備及び維持管理 錦木塚や十和田湖などの現状確認を行い、学術専門機関の助言指導を受け適切な保存を図る。	◎市(教生・都)／◎町(教学・郷)／関係団体／専門		▨▨▨▨▨▨▨▨▨▨		国 県 市 町
2-2	新規	原材料の確保と支援 紫根染・茜染で用いられる原材料の確保について保存団体へ支援を検討する。	◎市(教生)／住民／学校／関係団体		▨▨▨▨▨▨▨▨▨▨		市 民 間
2-3	継続	歴史文化や文化財に関する講座の開催 文化財の保護・研究団体が地域の歴史文化や文化財を普及啓発する講座を開催する。	◎市(教生・大ス・先・資)／◎町(教学・郷・公)／関係団体	▨▨▨▨▨▨▨▨▨▨			市 町
2-4	継続	湖南を知る会の実施 内藤湖南の書簡を解説し湖南自身や当時の社会背景等を学ぶ。	◎市(先)／◎関係団体	▨▨▨▨▨▨▨▨▨▨			市 民 間
2-5	継続	「鹿角の偉人」読書感想文コンクールの実施 内藤湖南・和井内貞行についての読書感想文を募集し、児童生徒のふるさとを想う心を育成する。現在は市内小中学校に対して実施しているが、実施方法を検討する。	◎市(教生・先)／◎関係団体	▨▨▨▨▨▨▨▨▨▨			市 民 間
2-6	継続	鹿角人物事典講座 鹿角の先人について学び、ふるさとへの愛着を深める。	◎市(教生・先)／◎関係団体	▨▨▨▨▨▨▨▨▨▨			市 民 間
2-7	新規	紫根染・茜染の普及啓発 紫根染・茜染の研究団体と連携し、伝統工芸の継承・普及を図る。	◎市(教生)／◎関係団体／学校	▨▨▨▨▨▨▨▨▨▨			市 民 間
2-8	新規	パンフレットなどの検討 菅江真澄にゆかりのある地を紹介するパンフレットなどを作成する。松浦武四郎や高山彦九郎などの足跡を記したマップを作成する。	◎市(教生・産)／◎町(教学・郷・観)／関係団体		▨▨▨▨▨▨▨▨▨▨		市 町
2-9	新規	周遊ルートの検討 菅江真澄が訪れた地を周遊するためのルートを検討する。	◎市(教生・産)／◎町(教学・郷・観)／関係団体／専門		▨▨▨▨▨▨▨▨▨▨		市 町

3. 黄金花咲く鹿角

(1) 概要

鹿角地域は金属鉱床資源が豊富で、鉱山が栄えた。小坂鉱山、尾去沢鉱山は、江戸時代から現代までの鉱山の繁栄と人々の自然への畏怖の心を示す文化財が残される。

(2) テーマ

鹿角地域は鉱山の多い秋田県のなかでも屈指の産出地である。江戸時代には大小70余りの鉱山があり、金・銀・銅などを採掘していた。その様子は「せまいようでも鹿角の里は 西も東も黄金の山」と唄われた。

近代に多くの労働力と大型機械が導入され、大量の木材を用いて坑道が整えられ、日本の近代産業発展を支えた。鉱山周辺には住宅が建てられ、劇場などの福利厚生施設も整備・拡大された。

鹿角地域で代表的な鉱山は、尾去沢鉱山(尾去沢地区)と小坂鉱山(小坂地区)であり、その繁栄の歴史は語り継がれている。

小坂鉱山は閉山後も近代の福利厚生施設や鉄道が残され、集約した観光施設として一般に公開される。

尾去沢鉱山は和銅元(708)年の開山といわれ、時代ごとに重要な役割を担ってきた。閉山後は観光鉱山として採鉱坑道跡が整備され公開された。また、鉱山の人々は山神社の祭典で山の繁栄を祈り、祀った。尾去沢地区では、現在も山神社の祭典が行われ、採鉱の作業の様子から作られたからめ節金山踊りなどを奉納している。盆には、鉱山に携わった人々や先祖の霊を大直利大太鼓が供養している。そのほか、開山伝説は語り継がれ、大森親山獅子大権現舞が伝承されている。



旧小坂鉱山事務所
(国指定、小坂地区)



からめ節金山踊り
(市指定、尾去沢地区)



大森親山獅子大権現舞
(県指定、尾去沢地区)

● 構成文化財一覧

名称	地区	類型	指定等
康楽館	小坂	有形文化財(建造物)	国指定
旧小坂鉱山事務所	小坂	有形文化財(建造物)	国指定
旧小坂鉄道小坂駅本屋及びプラットフォーム	小坂	有形文化財(建造物)	国登録
旧小坂鉄道小坂駅機関車庫	小坂	有形文化財(建造物)	国登録
旧小坂鉱山工作課原動室	小坂	有形文化財(建造物)	国登録
天使館(旧聖園マリア園)	小坂	有形文化財(建造物)	国登録
旧小坂鉱山病院記念棟	小坂	有形文化財(建造物)	国登録
碓発電所	八幡平	有形文化財(建造物)	未指定
小坂鉱山資料	小坂	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	県指定
旧小坂鉄道貴賓車客車一両及び11号機関車一両	小坂	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	県指定
旧止滝発電所一号発電機械	小坂	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	県指定
尾去沢鉱山資料	尾去沢	民俗文化財(有形の民俗文化財)	県指定

名称	地区	類型	指定等
大森親山獅子大権現舞	尾去沢	民俗文化財(無形の民俗文化財)	県指定
からめ節金山踊り	尾去沢	民俗文化財(無形の民俗文化財)	市指定
山神社祭典	尾去沢	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
光る怪鳥	尾去沢	その他(口承文芸)	未指定
白根	十和田	その他(地名)	未指定
長坂	尾去沢	その他(地名)	未指定

3. 黄金花咲く鹿角

●分布



資料:「国土地理院地図」をもとに作成

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

(3) 関連文化財群の現状と課題・方針・措置

①現状と課題

- ・構成文化財は指定等文化財も含めて詳細調査が必要である。
- ・構成文化財のなかの指定等文化財は鹿角市と小坂町で個別に観光活用し公開しているが、関連性をもった活用が不十分である。
- ・ホームページ以外の情報発信が不十分である。小坂鉱山など民有地に所在するものがあり、現地を訪れることが難しい文化財はデジタル化の対応が必要である。
- ・尾去沢中学校による尾去沢鉱山ガイドが年1度行われているほか、文化財の保護・研究団体が鉱山に関する講座を開催しているが、複数の文化財をテーマに沿って伝える必要がある。
- ・有形文化財を後世に伝えるため、維持管理が必要である。

②方針

- ・構成文化財の詳細調査や記録作成を行い、適切な保存を図る。
- ・鹿角市と小坂町が構成文化財の一体的なパンフレットなどの作成や周遊ルートの検討を図る。
- ・採掘跡などデジタル技術を用いたコンテンツで再現し公開するなど情報発信を図る。鉱山の仕事や生活がわかるデジタルマップなどの作成を検討する。
- ・「黄金花咲く 鹿角」の構成文化財を関係団体と連携し、テーマとともにわかりやすく伝えるため講座やイベントを開催し、普及啓発を図る。
- ・建造物などの有形文化財の修復・補修を計画的、継続的に行い、維持管理に努める。

③措置

■：実施期間 ▨：恒常的措置

No.	新規 ／ 継続	事業名	実施者 ◎は主体	事業期間			財源
				前期	中期	後期	
3-1	新規	建造物の詳細調査の実施 近代に入り建築された鉱山に関する建造物を学術専門機関と連携し調査し、総合的な把握に取組む。	◎市(教生)／◎町(教学・郷)／関係団体／専門	■	■	■	国 県 市 町
3-2	新規	周遊ルートの検討 鉱山にゆかりのある地を周遊するためのルートを検討する。	◎市(教生・産)／◎町(教学・郷・観)／関係団体			■	市 町
3-3	拡充	情報発信の強化 ホームページやパンフレットの内容を更新し、情報発信を図る。 ・パンフレットのデジタル化 ・坑内のデジタルマップ作成の検討	◎市(教生・産)／◎町(教学・郷・総・観)／関係団体	▨	▨	▨	国 県 市 町
3-4	継続	歴史文化や文化財に関する講座の開催 文化財の保護・研究団体が地域の歴史文化や文化財を普及啓発する講座を開催する。	市(教生・資・産)／町(教学・郷)／◎関係団体	▨	▨	▨	市 町 民 間
3-5	継続	地域行事への参加 児童生徒が地域で行われる祭典などへ参加する取組みを継続する。 ・山神社祭典	◎学校／◎住民／関係団体	▨	▨	▨	市 民 間
3-6	拡充	屋外に所在する有形文化財の維持管理 小坂町が所有する国指定・県指定・国登録の鉱山関連文化財の修復・補修を行う。	◎町(教学・郷・観・建)／住民／関係団体	▨	▨	▨	国 県 町 民 間

4. 小さな集落の祭りと行事

(1) 概要

鹿角地域は、豊かな自然環境や他地域との交流によって多様な文化が育まれた。集落ごとに、文物が受け継がれ、現在でも寺社の例祭や季節に応じた行事、石造物などが守り継がれている。

(2) テーマ

鹿角地域は自然の織りなす四季の移り変わりが美しい。人々は季節の変わり目を感じ取って来た。また古くから鉱山が栄え、京・大阪・江戸との往来が多く、寒冷多雪の山里であるにも関わらず早くから文化が開け、地域で生まれた文化も多様である。農作物の成長や豊作を祈るなど、暮らしの節目節目で民俗行事・祭りが行われ、踊りの民俗芸能、馬産の地であることに由来する馬の神の信仰が根付いた。

集落内で継承されてきた行事や祭り、信仰は、人口減少が進むなかで、現在も時代に合わせて変化しながら続けられている。集落の無病息災や発展を祈願する行事、集落の地形や環境に適応した行事がある。また、集落に伝承される盆踊や虫送り、雨乞いといった行事は、過去に起こった災害の記憶を現在に伝え、形を変えながら行われている。行事・祭りには大太鼓が用いられることが多い。

寺社には、行事・祭りのほか、絵馬や仏像、樹木などが伝わる。集落の無病息災や発展を祈り、神仏を祀ったものには、石造物があり、集落の人々によって供養塔や庚申塔などが建立された。地域内には石造物は300基余りあり、寺社の境内や路傍、街道脇などでよく目にすることができる。現在でも山の神や男神女神といった神仏は人々から親しまれ信仰を集めている。



川原大神楽
(市指定、十和田地区)



下花輪の虫送り
(花輪地区)



庚申塔
(鹿角地域)

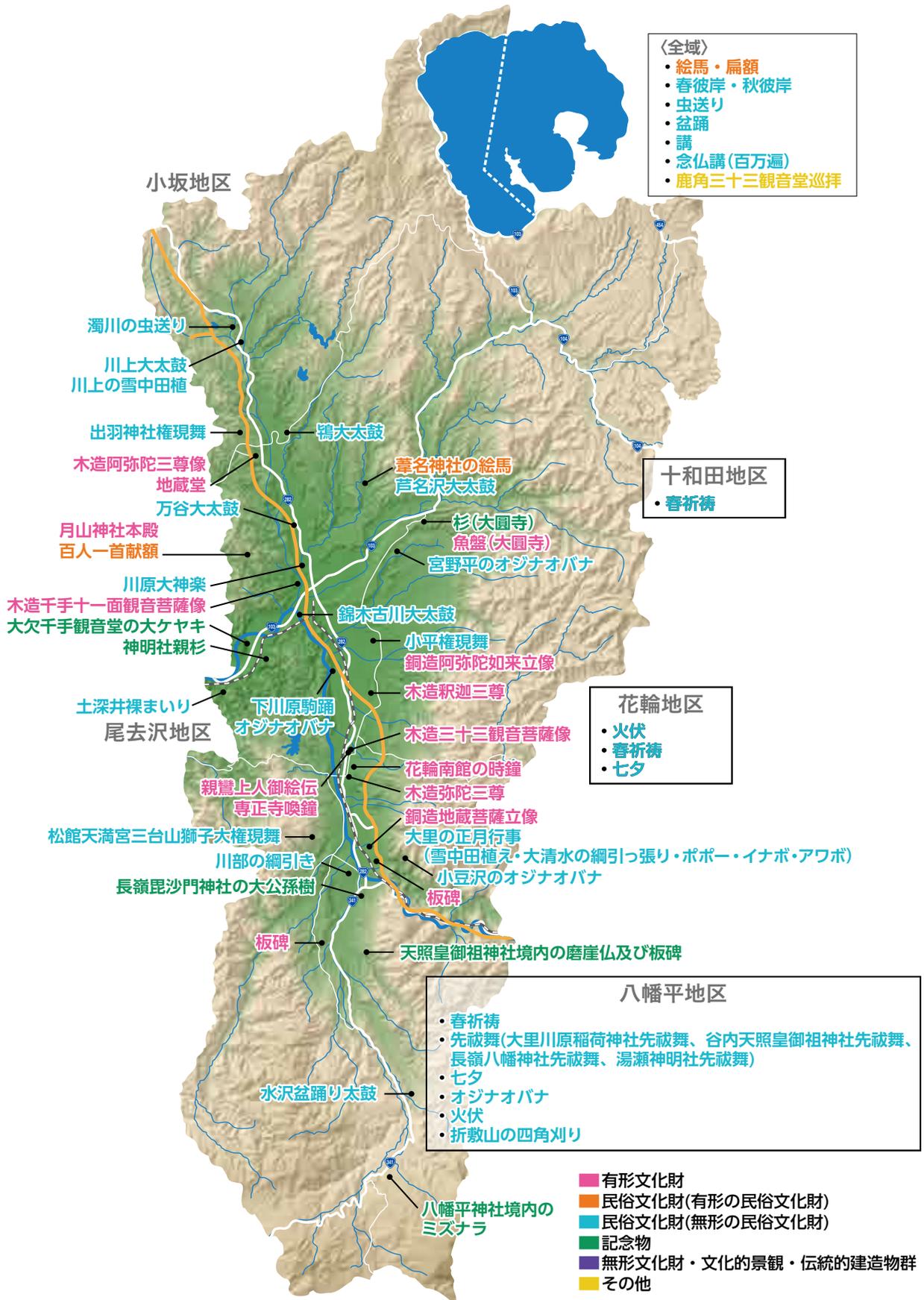
● 構成文化財一覧

名称	地区	類型	指定等
月山神社本殿	十和田	有形文化財(建造物)	市指定
親鸞上人御絵伝	花輪	有形文化財(美術工芸品(絵画))	市指定
銅造阿弥陀如来立像	花輪	有形文化財(美術工芸品(彫刻))	県指定
木造弥陀三尊	花輪	有形文化財(美術工芸品(彫刻))	県指定
銅造地藏菩薩立像	八幡平	有形文化財(美術工芸品(彫刻))	県指定
魚盤(大圓寺)	十和田	有形文化財(美術工芸品(彫刻))	市指定
木造千手十一面観音菩薩像	十和田	有形文化財(美術工芸品(彫刻))	市指定
木造三十三観音菩薩像	花輪	有形文化財(美術工芸品(彫刻))	市指定
木造釈迦三尊	花輪	有形文化財(美術工芸品(彫刻))	市指定
木造阿弥陀三尊像	小坂	有形文化財(美術工芸品(彫刻))	町指定
専正寺喚鐘	花輪	有形文化財(美術工芸品(工芸品))	市指定
花輪南館の時鐘	花輪	有形文化財(美術工芸品(工芸品))	市指定
板碑	八幡平	有形文化財(美術工芸品(考古資料))	市指定
地藏堂	小坂	有形文化財(美術工芸品(歴史資料))	町指定
葦名神社の絵馬	十和田	民俗文化財(有形の民俗文化財)	市指定
百人一首献額	十和田	民俗文化財(有形の民俗文化財)	市指定
絵馬・扁額	全域	民俗文化財(有形の民俗文化財)	未指定
松館天満宮三台山獅子大権現舞	八幡平	民俗文化財(無形の民俗文化財)	県指定

名称	地区	類型	指定等
芦名沢大太鼓	十和田	民俗文化財(無形の民俗文化財)	市指定
川原大神楽	十和田	民俗文化財(無形の民俗文化財)	市指定
土深井裸まいり	十和田	民俗文化財(無形の民俗文化財)	市指定
錦木古川大太鼓	十和田	民俗文化財(無形の民俗文化財)	市指定
宮野平のオジナオバナ	十和田	民俗文化財(無形の民俗文化財)	市指定
下川原駒踊	花輪	民俗文化財(無形の民俗文化財)	市指定
小豆沢のオジナオバナ	八幡平	民俗文化財(無形の民俗文化財)	市指定
大里川原稻荷神社先祓舞	八幡平	民俗文化財(無形の民俗文化財)	市指定
谷内天照皇御祖神社先祓舞	八幡平	民俗文化財(無形の民俗文化財)	市指定
長嶺八幡神社先祓舞	八幡平	民俗文化財(無形の民俗文化財)	市指定
湯瀬神明社先祓舞	八幡平	民俗文化財(無形の民俗文化財)	市指定
水沢盆踊り太鼓	八幡平	民俗文化財(無形の民俗文化財)	市指定
濁川の虫送り	小坂	民俗文化財(無形の民俗文化財)	町指定
出羽神社権現舞	小坂	民俗文化財(無形の民俗文化財)	町指定
川上大太鼓	小坂	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
川上の雪中田植	小坂	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
鴫大太鼓	小坂	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
万谷大太鼓	小坂	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
春祈祷	十和田・花輪・八幡平	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
小平権現舞	花輪	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
七夕	花輪・八幡平	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
オジナオバナ	花輪・八幡平	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
火伏	花輪・八幡平	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
大里の正月行事 (雪中田植え・大清水の綱引っ張り・ ポポー・イナボ・アワボ)	八幡平	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
折敷山の四角刈り	八幡平	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
川部の綱引き	八幡平	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
講	全域	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
念仏講(百万遍)	全域	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
春彼岸・秋彼岸	全域	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
盆踊	全域	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
虫送り	全域	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
天照皇御祖神社境内の磨崖仏及び 板碑	八幡平	記念物(遺跡)	県指定
杉(大圓寺)	十和田	記念物(動物・植物・地質鉱物)	県指定
大欠千手観音堂の大ケヤキ	十和田	記念物(動物・植物・地質鉱物)	市指定
神明社親杉	十和田	記念物(動物・植物・地質鉱物)	市指定
長嶺毘沙門神社の大公孫樹	八幡平	記念物(動物・植物・地質鉱物)	市指定
八幡平神社境内のミズナラ	八幡平	記念物(動物・植物・地質鉱物)	市指定
鹿角三十三観音堂巡拝	全域	その他(口承文芸)	未指定

4. 小さな集落の祭りと行事

●分布



資料:「国土地理院地図」をもとに作成

(3) 関連文化財群の現状と課題・方針・措置

① 現状と課題

- ・ 集落の著しい人口減少により、無形の民俗文化財が中止(休止)・縮小の危機に瀕しているが、構成文化財についての記録が乏しく、現状調査と記録作成が必要である。
- ・ 無形の民俗文化財に用いられる用具の入手や修理が難しいだけでなく、茅場の減少や稲作のスマート化などにより、文化財に用いられる藁・茅の確保も難しくなり、対策が必要である。
- ・ 人口減少により、集落単位での開催が困難になっており、体制づくりが必要である。
- ・ 集落の歴史文化を示す石造物などの文化財は地域によって保存されてきたが、人口減少により保存管理が不十分である。
- ・ 無形の民俗文化財に関する情報発信が鹿角市のホームページやSNSが主であり、不十分である。

② 方針

- ・ 構成文化財の現状調査の実施と記録作成を行う。記録媒体のデジタル化も行う。
- ・ 無形の民俗文化財の維持に必要な藁・茅、用具などを整える支援を行う。
- ・ 集落で無形の民俗文化財を継承できる体制の確立を図る。
- ・ 集落の歴史文化を示す石造物などの文化財を学術専門機関などと連携し、適切な保存管理を図る。
- ・ 無形の民俗文化財に関する情報発信や、情報発信のための場を作る。「小さな集落の祭りと行事」に関連する文化財を関係団体と連携し、テーマとともに分かりやすく伝えるための講座やイベントを開催し、普及啓発を図る。

③ 措置

■ : 実施期間 ▨ : 恒常的措置

No.	新規 / 継続	事業名	実施者 ◎は主体	事業期間			財源
				前期	中期	後期	
4-1	新規	民俗文化財の調査 虫送り、念仏講など構成文化財に関する現状調査を行い、映像記録の作成、調査報告書の刊行など記録作成を行う。指定等文化財から優先的に実施する。	◎市(教生)/◎町(教学・郷)/住民/関係団体/専門		■		国 県 市 町
4-2	新規	原材料の確保と支援 年中行事等で使用する頻度が高い稲わらの確保と保存団体へ支援を実施する。	◎市(教生・農業)/住民/関係団体		▨		市 民 間
4-3	拡充	無形の民俗文化財に用いられる衣装や道具の整備支援 補助事業を活用し、無形の民俗文化財の衣装や道具の整備を支援する。また、修理・新規調達の際に確認できるように、措置No.4-1「民俗文化財の調査」と連動し、用具などの記録作成を行う。	◎市(教生)/◎町(教学・郷)/住民/関係団体	▨			国 県 市 町 民 間
4-4	拡充	指定の無形の民俗文化財の保存団体の支援 指定の無形の民俗文化財の保存団体が行う継承活動にかかる費用に対し財政支援を行う。また、後継者の確保・育成活動の支援として、鹿角市民俗芸能フェスティバルの開催を継続するとともに、情報交換会を拡充する。 また、記録作成・デジタル化も行う。 ・ 無形民俗担い手育成事業 ・ 鹿角市民俗芸能フェスティバルの開催 ・ 保存団体の情報交換会 など	◎市(教生)/◎町(教学・郷)/住民/関係団体/専門	▨			国 県 市 町 民 間
4-5	新規	なわなイドクター養成講座の実施 文化財の保存に欠かせない草鞋や注連縄を作ることができる人材の確保のために講座を実施する。	◎市(教生・農業)/◎町(教学・郷・観)/住民/関係団体		■		市 町
4-6	継続	地域行事への参加 児童生徒が地域で行われる祭典などへ参加する取組みを継続する。 ・ 神社の例祭 ・ 盆踊 ・ 虫送り	学校/◎住民/関係団体		▨		市 民 間
4-7	新規	中世・近世資料の保存管理 指定の仏像、石造物などの資料を適切に保存管理するほかデジタル化し公開を図る。	◎市(教生)/◎町(教学・郷)/住民/関係団体/専門			■	市 町

5. 伝統と挑戦が魅了する鹿角の祭礼・芸能

(1) 概要

鹿角地域には多様な祭り・行事が伝わる。そのなかには、地区全体や複数の集落が一体となった祭礼と芸能が行われ、一部は現代になり観光的要素を持ち、鹿角地域の文化が受け継がれている。

(2) テーマ

鹿角地域はさまざまな形の無形の民俗文化財が伝わり、ユネスコ無形文化遺産に登録されている文化財が3件所在する。また地区全体や複数の集落が一体となって行い、集客による観光的要素をもつ多様な民俗芸能がある。

鹿角地域には、集落内で行われる祭り・行事のほかに、地域社会の安泰や災厄防除を願い、地域の人々が一体となり行う祭りがあり、神輿や屋台を用いることが多い。また人々が、集落外の人々とも触れる機会となる。小坂地区には小坂七夕、十和田地区には月山神社祭礼、毛馬内七夕、毛馬内の盆踊、大湯大太鼓、花輪地区には花輪ねぶたや花輪祭の屋台行事、尾去沢地区にはからめ節金山踊り、大森親山獅子大権現舞、八幡平地区には大日堂舞楽などがある。人々は幼少期から年間を通じて準備や練習などで祭り・行事に関わり、世代を超えた多くの人々の間で対話と交流を促し、コミュニティを結びつける役割を果たしている。これらの祭り・行事は人口減少が進む現在も、時代に合わせて変化しながら続けられている。



月山神社祭礼
(十和田地区)



花輪ねぶた
(市指定、花輪地区)



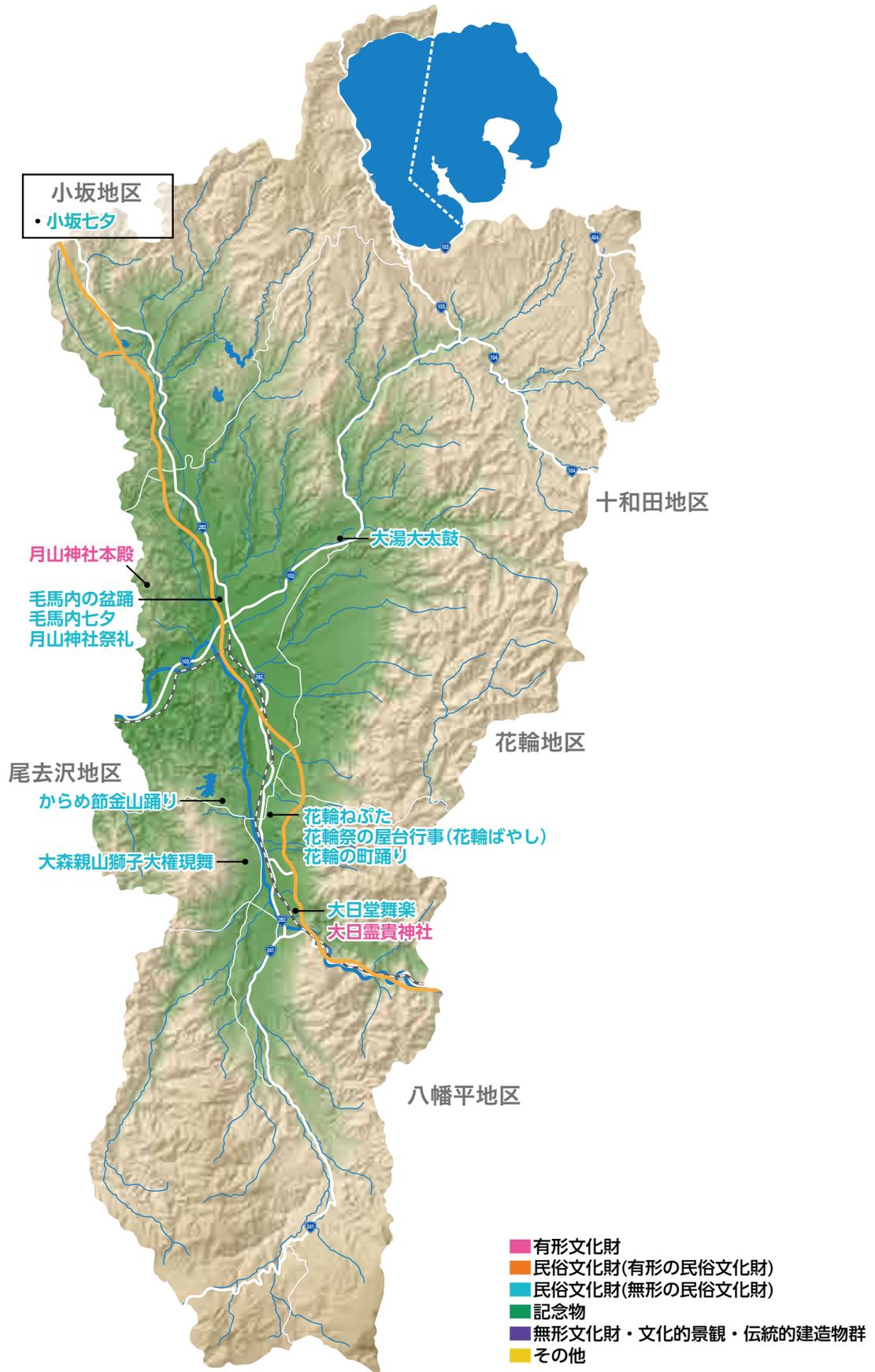
大日靈貴神社
(八幡平地区)

● 構成文化財一覧

名称	地区	類型	指定等
月山神社本殿	十和田	有形文化財(建造物)	市指定
大日靈貴神社	八幡平	有形文化財(建造物)	未指定
毛馬内の盆踊	十和田	民俗文化財(無形の民俗文化財)	国指定・ユネスコ無形文化遺産登録
花輪祭の屋台行事	花輪	民俗文化財(無形の民俗文化財)	国指定・ユネスコ無形文化遺産登録
大日堂舞楽	八幡平	民俗文化財(無形の民俗文化財)	国指定・ユネスコ無形文化遺産登録
大湯大太鼓	十和田	民俗文化財(無形の民俗文化財)	県指定
花輪の町踊り	花輪	民俗文化財(無形の民俗文化財)	県指定
大森親山獅子大権現舞	尾去沢	民俗文化財(無形の民俗文化財)	県指定
花輪ねぶた	花輪	民俗文化財(無形の民俗文化財)	市指定
からめ節金山踊り	尾去沢	民俗文化財(無形の民俗文化財)	市指定
小坂七夕	小坂	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
月山神社祭礼	十和田	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定
毛馬内七夕	十和田	民俗文化財(無形の民俗文化財)	未指定

5. 伝統と挑戦が魅了する鹿角の祭礼・芸能

●分布



資料:「国土地理院地図」をもとに作成

(3) 関連文化財群の現状と課題・方針・措置

①現状と課題

- ・構成文化財の詳細調査と記録作成が必要である。記録媒体のデジタル化も必要である。
- ・学校教育では地域内で相互交流が行われ、地区の無形の民俗文化財を披露している。しかし、人口減少により、無形の民俗文化財の担い手が不足している。団体によっては担い手育成が図られているが、さらなる対策を要する。
- ・無形の民俗文化財で用いられる用具の入手や修理が難しいだけでなく、茅場の減少や稲作のスマート化などにより、文化財に用いられる藁・茅の確保も難しくなり、対策が必要である。
- ・門付けや屋台の運行状況などのリアルタイムな情報発信が不十分である。
- ・鹿角市は観光分野でヘリテージツアーなどを実施し、世界遺産、ユネスコ無形文化遺産をつなぐ取組みを行っているが、それ以外の連携が不十分である。

②方針

- ・構成文化財の詳細な調査の実施と記録作成を行う。記録媒体のデジタル化も行う。
- ・無形の民俗文化財の担い手に関する体制づくりを検討する。
- ・無形の民俗文化財の維持に必要な藁・茅や用具などを整える支援を行う。
- ・門付けや屋台の運行状況などがリアルタイムでわかる情報発信を図る。
- ・「伝統と挑戦が魅了する鹿角の祭礼・芸能」の構成文化財を関係団体と連携し、テーマとともにわかりやすく伝える周遊ルートや講座、イベントを開催し、普及啓発を図る。

③措置

■：実施期間 ▨：恒常的措置

No.	新規／継続	事業名	実施者 ◎は主体	事業期間			財源
				前期	中期	後期	
5-1	新規	民俗文化財の調査 毛馬内七タなど構成文化財に関する現状を確認し、映像記録の作成、調査報告書の刊行など記録作成を行う。	◎市(教生)／◎町(教学・郷)／住民／関係団体／専門		■		国 県 市 町
5-2	継続	地域行事への参加 児童生徒が地域で行われる祭典などへ参加する取組みを継続する。 ・花輪ばやしパレード ・月山神社祭礼の子ども神輿(樽みこし)	学校／◎住民／関係団体	▨			市 民 間
5-3	新規	地域のお祭り協力隊 後継者不足が進んでいる地域のお祭りに参加したい人を募集し年中行事・民俗芸能の保存を図る。	◎市(教生)／◎関係団体	■			市
5-4	継続	無形の民俗文化財の担い手育成 ・花輪ばやし担い手育成 ・毛馬内の盆踊担い手育成 ・町踊り講習会	市(教生)／◎住民／関係団体	▨			市
5-5	拡充	指定の無形の民俗文化財の保存団体の支援 指定の無形の民俗文化財の保存団体が行う継承活動にかかる費用に対し財政支援を行う。また、後継者の確保・育成活動の支援として、鹿角市民俗芸能フェスティバルの開催を継続するとともに、情報交換会を拡充する。 また、記録作成・デジタル化も行う。 ・無形民俗担い手育成事業 ・鹿角市民俗芸能フェスティバルの開催 ・保存団体の情報交換会 など	◎市(教生)／◎町(教学・郷)／住民／関係団体／専門	▨			国 県 市 町 民 間
5-6	新規	なわなイドクター養成講座の実施 文化財の保存に欠かせない草鞋や注連縄を作ることができる人材の確保のために講座を実施する。	◎市(教生・農業)／◎町(教学・郷・観)／住民／関係団体		■		市 町
5-7	新規	原材料の確保と支援 大湯環状列石の復元物や茅葺屋根の葺き替えなど恒常的な保存修理と年中行事等で使用する頻度が高い稲わらの確保と保存団体へ支援を実施する。	◎市(教生・農業)／住民／関係団体		▨		市 民 間

